

平成 24 年度

びわ湖ホール

劇場サポーター活動記録集



滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA

目 次

平成24年度劇場サポーター研修の概要

第1回舞台芸術基礎講座 <オリエンテーション(舞台見学)編>.....1

第2回舞台芸術基礎講座 <古典芸能編>..2

第3回舞台芸術基礎講座 <オーケストラ編>.....3

研修・稽古見学・その他.....4

平成24年度劇場サポーター自主活動の概要.....4

平成24年度びわ湖ホール劇場サポーター運営要綱.....5

劇場サポーターの声.....7

はじめに

劇場サポーターの皆さんは、多分サポーターになる前に、舞台芸術を見て、あるいは聴いて大変な感動をしたという経験があると思います。こうした感動体験がいつ起こるのかは、なかなか予想できません。期待して見に行った公演が、それほどでもなかった、逆に、期待もせずに偶然見た公演が素晴らしかったといったことは誰もが経験するところです。舞台芸術との出会いにも一期一会と言えるような偶然と必然が重なった厳しさがあります。

ところで、びわ湖ホールではここ数年、教育普及のための事業が大幅に増えていることに気づかれていますでしょうか。ロビーコンサート、各種の講座、公演のプレトークやアフタートーク、ワークショップ、子どもたちのための事業、そして声楽アンサンブルが学校や県内のホールなどへ歌声を届けています。昨年度の参加者は合計で3万6千人を超え5年前の3倍以上になっています。

現在上演されている舞台芸術は、100年あるいはそれ以上前に作られた古典作品が多いので、それを享受するために予備知識などが必要になることがあります。普及事業で作品に関する知識を得たり、その一部に触れたりすることが役に立つのは間違いありません。しかし、それでも上に述べた感動体験が保証されるわけではなく、作品と個人と決定的な出会いを待つしかありません。普及事業はそのためのウォーミングアップです。舞台芸術との出会いは幸福な体験ではありますが、驚きと危険に満ちた冒険でもあります。精神のウォーミングアップは十分にしておく必要があります。

そして、劇場サポーターはウォーミングアップのためのコーチであり仲間です。モーツァルトのオペラ《魔笛》の幕切れ近く、パミーナとタミーノがそれぞれの試練を受ける場面があります。試練は一人で孤独に受けなくてはなりません。そこに至るまではザラストロ、パパゲーノとパパゲーナ、三人の童子、三人の侍女、そして夜の女王もモノスタートスも、パミーナとタミーノを導き、助言し、励まし、時には逆らい、敵対しつつウォーミングアップに貢献する人物たちです。

びわ湖ホールは今年、開館15周年を迎えます。劇場サポーターの力で一人でも多くの方が劇場で感動体験を得て、個人と社会の生活が豊かになることを願っています。

平成25（2013）年3月

公益財団法人びわ湖ホール理事長・館長 井上 建夫

平成24年度劇場サポーター研修の概要

◎舞台芸術基礎講座

第1回基礎講座 <オリエンテーション・舞台見学>

日 時 平成24年3月17日（土） 13:00～15:30
場 所 びわ湖ホール 大ホール・研修室

- あいさつ 【井上館長】
- 劇場サポーター活動について
- 第17期サポーター自己紹介
- びわ湖ホール大ホール施設見学



第2回基礎講座 ＜古典芸能編＞

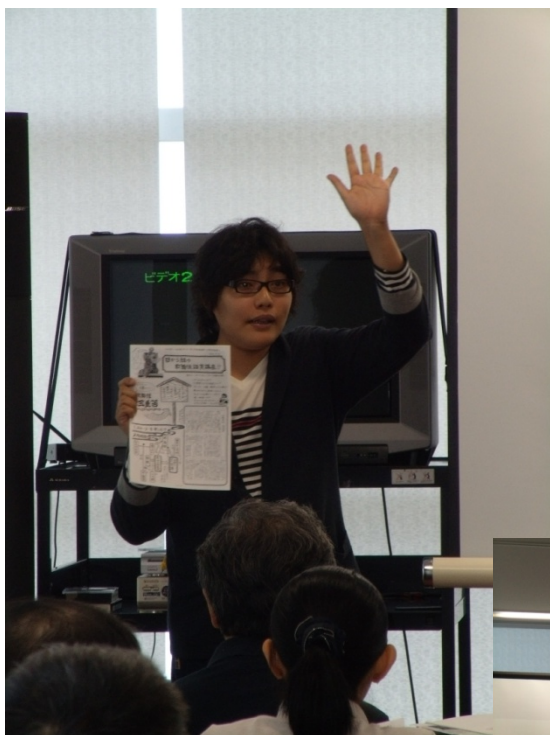
日 時 平成24年9月16日（日） 14:00～16:00
場 所 びわ湖ホール 研修室

■講義

標 題：『『わからない…』なんてもう言わせない！目から鱗^{ウロコ}の鑑賞講座』

講 師：木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎 主宰）

講義内容：翌日に控えた「松竹大歌舞伎『歌舞伎のみかた』『熊谷陣屋』『女伊達』」公演の開催を前に、今注目すべき、歌舞伎の魅力やその見どころ、鑑賞のポイントについてお話していただきました。『熊谷陣屋』については、物語の解説に始まり、役者が演じるにあたって用いられる“ことば”の種類とそれぞれの違いについて、また、“型”（演出/解釈）によって大きく異なる幕切れの比較など、盛りだくさんの内容でお贈りしました。
翌日は研修として参加したサポーターと共に木ノ下さんも公演を鑑賞され、サポーターから木ノ下さんへ質問を投げかける場面も見られるなど、講座から本公演まで充実の鑑賞体験となりました。



第3回基礎講座 <オーケストラ編>

日 時 平成25年2月16日（土） 14:00～15:30
場 所 びわ湖ホール 研修室

■講義

標 題 : 「オーケストラの舞台裏 2013」

講 師 : 望月正樹（日本センチュリー交響楽団 楽団長）

講義内容 : 今年度の沼尻竜典オペラセレクション モーツァルト作曲 歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』
〔11月30日（金）・12月2日（日）開催〕をはじめ、びわ湖ホールの公演に数々ご出演いただいている日本センチュリー交響楽団より、楽団長の望月正樹さんを講師にお迎えし、オーケストラについての基本的な知識から知られざる歴史まで、多岐に渡るお話をさせていただきました。ホルン奏者という経歴をお持ちの望月さんによるホルンの成り立ちについてのお話では、古代よりいくつもの時代をまたいで変化を遂げてきたその歴史を伺い知ることができました。

また、講義後の質疑応答では、指揮者の選定や公演のプログラム選曲についてなど、普段なかなか聞くことのできないオーケストラの裏側についての質問が参加者よりいくつもあがり、講座は盛況のうちに終了しました。



◎その他研修・稽古見学等

『わくわく☆ドキドキ♥劇場探検ツアー』ゲネプロ見学

日 時 平成24年8月24日（金） 19：00～21：00

場 所 びわ湖ホール 大ホール

■公演前日のリハーサルに参加

びわ湖ホール プロデュースオペラ 歌劇『椿姫』プレトーク・マチネ

日 時 平成25年1月20日（日） 14：00～

場 所 びわ湖ホール 小ホール

■指揮者の沼尻竜典氏らによる公演の観どころ、聴きどころの解説とキャストによる演奏。

◎舞台芸術 公演鑑賞研修

様々な舞台芸術に触れていただき、PR活動に役立てていただくため、一部のびわ湖ホール主催公演を対象に公演鑑賞研修を実施。

平成24年度劇場サポーター自主活動の概要

1. サポーターの集い・分科会（ジャンル別）の開催

（1） 6月24日（日） 分科会〈17期さんようこそ！初めての交流会です〉

サマーパーティー ～夏至の夕べ びわ湖畔で歌おう、しゃべろう！～

（2） 9月29日（土） 分科会〈お茶やお菓子を食べながらおしゃべりしましょう会〉

（3） 11月17日（土） 分科会〈皆で作ろう！ハルモニア・交流会・パーティー〉

（4） 11月24日（土） ハイキング〈箕作山から太郎坊宮へ 三山縦走〉

（5） 12月15日（土） 分科会〈「椿姫」の魅力〉

クリスマスパーティー〈今年もたくさん舞台鑑賞しましたね！思いのたけを語り合いましょう！〉

（6） 2月 3日（日） 分科会〈「三文オペラ」に出演して〉

2. サポーター通信の発行

サポーター同士のコミュニケーションを図り、びわ湖ホールをはじめとする、あらゆる舞台芸術の面白さを外部に向けて発信することを目的とした「サポーター通信」は、1998年10月から1999年6月までに創刊準備号として3号を、2000年には名称を“Harmonia”（ハルモニア）として昨年度までに創刊号～第29号を、今年度は第30号を発行しました。

3. サポーターメーリングリスト

サポーター同士の連絡・交流用に、メールアドレスを持っているサポーターを登録し、公演の感想やミニレクチャーなどに幅広く活用されています。

平成24年度びわ湖ホール劇場サポーター運営要綱

1 趣旨

地域や職場、友人など、人のネットワークを生かして、びわ湖ホールとそこで上演される舞台芸術を生活に身近なものと感じる愛好者の輪を広げることを目的に、びわ湖ホール劇場サポーター（以下「劇場サポーター」という）を設置します。

2 劇場サポーターの役割

○舞台芸術についての情報およびびわ湖ホールで開催する公演の情報を、口コミやチラシ配布などにより地域や職場の方、ご友人に広く伝え、観客創造につなげていただきます。

○舞台芸術に関する講座や研修を受講し、知識を広め関心を高めていただきます。

○公演内容や運営について、ご自身やお知り合いの方々の感想や反応等をまとめて報告していただきます。

○劇場サポーター通信の発行や勉強会、交流会などの自主活動を通じて、ネットワークづくりを進めていただきます。

○公演運営のお手伝いをお願いすることがあります。

3 劇場サポーターの定員と登録

公募により選ばれた方を劇場サポーターとして登録し、定員は約100人、登録期間は3年間とします。任期終了後、1回に限り再応募することができます。（最長任期6年）

4 平成24年度活動

（1）舞台芸術に関する研修の受講

- ・基礎講座
- ・鑑賞研修
- ・舞台稽古の見学、プレトーク等の関連事業への参加

（2）舞台芸術の公演鑑賞研修

劇場サポーターの舞台芸術に対する理解を深めるため、びわ湖ホール主催公演をジャンルごとに選択し、鑑賞していただきます。

（3）舞台芸術情報やびわ湖ホールにおける公演情報の地域や職場、友人等への広報

- ・口コミによるPR活動
- ・チケット予約の受付

（4）舞台芸術に関する地域の情報、およびびわ湖ホールにおける公演に関する友人などの感想や反応等の報告

- ・劇場サポーターレポートの提出
- ・活動記録集用の原稿提出

(5) 自主活動

- ・分科会、イベントなどの開催
- ・劇場サポーター通信 (Harmonia) の発行

5 劇場サポーターの内訳

【期別】

1 5 期	3 4 名
1 6 期	3 8 名
1 7 期	4 1 名

【住所別】

●滋賀県	8 8 名
大津市	5 7 名
草津市	1 0 名
長浜市	1 名
栗東市	3 名
近江八幡市	1 名
湖南市	4 名
甲賀市	5 名
東近江市	2 名
彦根市	3 名
高島市	1 名
愛知郡愛荘町	1 名

●京都府	1 6 名
●大阪府	5 名
●兵庫県	4 名

【年齢・性別】

男性	3 2 名
女性	8 1 名

1 0 代	2 名
2 0 代	6 名
3 0 代	1 1 名
4 0 代	2 2 名
5 0 代	2 1 名
6 0 代～	5 1 名

計 1 1 3 名

劇場サポーターの声

発行 公益財団法人びわ湖ホール

発行年月 平成25年3月

〒520-0806 大津市打出浜 15-1

TEL077-523-7133 FAX077-523-7147

URL <http://www.biwako-hall.or.jp/>